

国語科 中学校3年

単元名 言語感覚をみがこう
「俳句を味わう」
東京書籍「国語3」

単元の流れ（全6時間）

【第1時】

主な学習内容

- ・学習の目標・計画にしたがって、見通しをもつ。
- ・詩の言葉とイメージについて学習する。
- ・俳句についての基礎的な知識を学ぶ。

言葉のイメージのワークシートはこちら

CLICK

【第2時】

主な学習内容

- ・俳句についての知識等を復習する。
- ・教科書の俳句についての理解を深め、読み味わう。
(1首～2首)

「活用」の力育成のために
もったイメージの違いを、相手に
伝えるように書き表す。①

教科書の俳句についての
ワークシートはこちら

CLICK

【第3時】

主な学習内容

- ・教科書の俳句についての理解を深め、読み味わう。
(3首～5首)
- ・俳句の鑑賞について学習を整理する。

グループ学習のワークシートはこちら

【第4・5時】(本時)

主な学習内容

- ・新たな俳句の鑑賞をグループで分担し、ワークシートを基に、鑑賞文等を作成する。(本時)

「活用」の力育成のために
グループで調べたり、話し合ったりして、鑑賞文の質を高める。②

CLICK

【第6時】

主な学習内容

- ・鑑賞文を発表し合い、相互評価を行う。
- ・自分のグループが調べた俳句について、鑑賞文テストを行う。

「活用」の力育成のために
根拠を明らかにしながら、
グループの考えを発表したり、
発表を評価したりする。③

CLICK

評価テストのシートはこちら

単元目標

- 俳句の優れた表現に学び、豊かな言語感覚を身に付ける。
- 俳句に凝縮された表現をとらえ読み味わい、鑑賞文として表現できる力を養う。

単元構成の意図

- ・俳句の基礎として、言葉がもつイメージについて具体的に実感できるようにする。
- ・教科書の俳句を学習することで、俳句を「鑑賞する」ための見方・考え方を、身に付ける。
- ・ワークシートを手がかりに、グループで俳句について調べたり、鑑賞文を考えたりして、俳句の読みを相互に深め合う。
- ・グループでまとめたことを根拠を明らかにしながら発表したり、自分の言葉で書いたりして、考えをいっそう明確にする。

「活用」の力を育てるポイント

- ①感じたこと・考えたことを、相手に伝えるような具体的な表現で文章に書き表したり、話したりする。
- ②俳句についての情報やことばの解釈に関する意見を総合し、質の高い鑑賞文にまとめられるようグループで話し合う。
- ③根拠を明らかにしながらグループの考えを発表したり、発表を評価したりすることで、説得力のあるプレゼンテーション能力を養う。

HOME

本時の流れへ